

令和3年度 天皇杯・皇后杯全日本バレー・ボール選手権大会岩手県予選会  
感染症防止対策についての連絡事項

- (1) 今大会は無観客開催とし、会場への立ち入りは以下の者のみとする。
- 選手・チームスタッフ・エントリー以外のチームメンバー
  - 撮影記録係（以外の方が撮影記録係として入場する場合は、チーム関係者又は高校生においては保護者に限り、上限を2名とし、フロアへの立ち入りは出来ない）
  - 大会役員（審判員・運営に関わる競技役員など）
- (2) 入館の際はチームごとにまとまって入場すること。その際、健康観察チェックシートの提出をすること。チェックシートに記載されている内容をもとに人数確認を行う。また、入館の際に、必要に応じて検温を行うこともある。チェックシートを提出しなければ館内へ入場できない。
- チーム及び撮影記録係の入場は当該試合の時間帯のみとする。ただし、1日に複数の試合がある場合は、チーム及び撮影記録係は会場で待機することができる。その際は密集を避けるように注意すること。待機場所はギャラリーまたは多目的ルームとする。
- (3) 館内は原則として常時マスク着用とする。また、手洗い、手指消毒などの基本的な感染症対策をこまめに行うこと。
- (4) 試合中も、コートでプレーしている選手以外は常時マスクを着用し、ベンチでは極力座席を空けること。なお、アップゾーンを使用できるのは、試合に出場している選手のみとし、その他の控え選手はベンチに着席すること。また、ベンチ・アップゾーンとも声を出しての応援は出来ない。
- (5) 審判員は飛沫防止対策としてホイッスルカバーを装着すること。ホイッスルカバーの使用については以下のとおりとする。
- マスクの口元にホイッスルを咥える分の切れ込みを作り、その切れ込み個所へホイッスルカバーをしたホイッスルを差し込み咥える。
  - 切れ込みを作ったマスクは試合中のみ使用可能とし、試合終了後は普通のマスクを装着すること。
- (6) メンバーチェンジの際はナンバーパドルの使用はしない。
- (7) 試合前後の選手同士及びチームキャプテンからの審判員への握手は行わない。
- (8) ボール等の競技用具の消毒は試合終了ごとに競技委員が行う。ベンチについては、チームに消毒作業の協力をお願いするので、各セット終了後、消毒作業を行ってからコートを明け渡すこと。
- (9) チームの飲み物の空き容器等は、館内には置かずチームの責任として必ず持ち帰ること。また、アイシング等で使用した氷をトイレや洗面台に投棄しないこと。
- (10) チーム責任者は、参加する選手・スタッフの健康状態(検温・体調)を把握し、体調管理を徹底させること。
- (11) 大会前日(会場入り前)までに陽性者や濃厚接触者等が確認された場合、今大会への参加は認めない。
- (12) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる場合は、該当者と他選手・スタッフを接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関に受診させる。しかし、該当者がPCR検査を受診することになった場合は、そのチームは参加を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待つこと。大会当日に濃厚接触者等が確認された場合も同様の扱いとする。

大会に関する問い合わせ先

責任者 田中 基（岩手県バレー・ボール協会理事長）

〒020-0133 盛岡市みたけ4-11-55 2号

岩手県バレー・ボール協会事務局

電話：019 645 6647 FAX：019 613 3705

携帯：090 2606 2460